

【 海南島プログラム 】

● ボランティア活動 ●

現地琼海（チョンハイ）の仙窟郷村にある小学校や幼稚園で子供たちに日本語や英語を教える活動です。「あいうえお」だけでなく、絵本や歌、ゲームなど“生きた日本語”を教える工夫をしてみてください。幼稚園は、子供の数がとても多いので先生の授業をお手伝い（書き取りのチェックなど）することもできます。スタッフは教室でのレッスンしか行っていませんが、条件が許すなら、外に出て日本の遊びを教えてあげても良いでしょう。



（幼稚園で英語のレッスン）

（小学校のクラスで日本語のレッスン）



滞在先から、車で7～8分。歩いて20～30分のところに、農村の子供達を通う、幼稚園・小学校・中学校の集まるエリアがあります。先生の家から朝の8時に幼稚園バスが出ていますが、それ以外の時間はのんびり歩いて行くことになります。

夏休みの時期は、学校ではなく王先生（現地コーディネーター）の教室で、子供から大人まで村の人達に日本語を教えることもあります。村の人達は王先生以外、日本語を話す方がほとんどいません。

中国語の研修がプログラムに含まれていますので、レッスンに必要な中国語を事前に学習、準備することもできます。

● 滞在先 ●

仙窟郷村孔子学校（兼王先生の自宅）が基本的に滞在先となります。
琼海駅から車で1時間くらいの静かな農村にあります。



（王先生（左端）と奥様、お二人のそれぞれのお母様、の4人家族）（CECスタッフと一緒に）



（2階が参加者の宿泊部屋）



（宿泊する部屋の一例）



（部屋のコンセント。変圧器が必要ですがプラグは日本のものが使えます）

王先生の家の周辺には、買い物や食事のできる場所はありません。
その分、ゆったりした時間の流れを楽しんでください。
インターネット（W I F I）が使用可能です。携帯電話も使用可能です。

● 農村での暮らし ●

(鶏のお世話)



(裏山で取れた椰子でココナッツスープ作り)



王先生の家ではほぼ自給自足の生活です。

日本語ボランティアの他に、鶏にえさをあげたり、畑の野菜を収穫したりと農村の生活を体験します。

もちろん毎日の食卓には、新鮮な野菜や魚、生みたて卵、が並びます。



(隣のおじさんと)



(アヒルや鶏が道端をウロウロ)



仙窟郷村では、80代・90代のお年寄りが元気に暮らしています。

ご近所の家の方が当たり前のように出入りして、一緒にご飯を食べたり、お茶を飲んでいきます。

夜には世間話をしながら麻雀を楽しんでいます。

今の日本ではなかなか見られなくなった風景がここにはまだ残っています。

近所にはコンビニにも娯楽施設もありませんが、静かな時間の中で、ゆっくり本を読んだりして過ごすことが

できます。村の人達は海南島の方言、海南語しか話せない方もいますが、皆あたたかく迎え入れてくれます。

空気や景色がきれいなので、散歩を楽しんだり、ご近所を訪問して簡単な日本語を教えてあげたり

中国語を教えてもらったり、会話の勉強をするには良い機会です。



(近所の80代のおばあさんと)



(椰子の葉でちまき作り)

滞在先から車で10分ほどのところに小さな町があります。(学校の近く)

雑貨屋さんで飲み物などを買ったり、定食屋さんで食事ができます。

海南島には“四大名菜”と言われる名物料理があります。“四大名菜”と言うのは文昌の鶏、東山の山羊、和楽の蟹、加積の家鴨で作った料理のことです。ここにはおいしいヤギ料理のお店もあります。

博鳌(ボアオ)という海辺の町ではカニ料理を楽しむことができます。



(新鮮なヤギ肉をたくさんの野菜と一緒に鍋で楽しめます。臭みはほとんどありません)

● その他の情報 ●

三亜地区

中国のハワイと言われている有名な観光地です。

琼海から日帰り旅行もできますが、見所が多いので1泊以上の旅行をお勧めします。



琼海（チョンハイ）

仙窟郷村から30キロほど離れた場所にある大きな町です。

中でも中原鎮のエリアには、スーパー、銀行、郵便局などが揃っています。大きな病院もあるのでしもの時も安心です。

博鳌（ボーアオ）



国際会議場やリゾートホテル、有名な海鮮料理のレストランなどがあります。農村とは違う、海辺の雰囲気を楽しんでください。

三江入海口といって、三本の川が海に流れ込む様子が見られる場所もあります。

プログラム内容

基本的な流れはありますが、（日本語ボランティア・生活体験・観光）現地コーディネーターで中国語の先生でもある王先生にご希望を伝えてアレンジしてもらいます。体験生活や中国語のレッスンに重きをおきたい方にはそちらを主体にしたスケジュールを組ませていただきます。

そのため参加のお申込みはご出発日まで余裕を持って行ってください。（1ヶ月半から2ヶ月）

ただし、時期によってはご希望に添えないこともございます。あらかじめご了承ください。

● プログラム費用のご案内 ●

CEC 手配費用 一律 45,000 円

これに、1 週間ごとのプログラム費用として下記の費用がかかります。

- 1 週間の場合 2,500元 （約47,500円）
- 2 週間の場合 5,000元 （約90,000円）
- 3 週間の場合 7,500元 （約135,000円）
- 4 週間の場合 10,000元 （約180,000円）

2 週間を越える滞在の場合にはビザが必要です。この場合には旅行会社で滞在ビザ（6 ヶ月まで）を取る事ができます。

プログラム 費用に含まれるもの

- 滞在費用（3食/日付き）
- 中国語研修費用（少人数制で1 週間に4-5 回）（個人レッスン応相談）
- 日本語ボランティア派遣のアレンジ
- 現地でのサポート（空港からの送迎含む）

その他にかかるもの

- 海南島までの往復航空券（提携先の旅行会社が手配いたします。個人で手配いただくことも可能です）
- 海外旅行傷害保険
- 現地での観光費用（例）
 - ・三亜一泊旅行代金 1, 200 元、（食費、交通費、ホテル代などすべて込み）
 - ・琼海観光代金 1, 000 元（食費、交通費、諸費用込み）
 - ・王先生、同行ガイド料 三亜：1, 000 元、琼海400 元